

2016年9月、創立130周年を迎える宮城学院。そんな節目の瞬間を学院全体で盛り上げていくため、新たに「宮城学院130th VIEW」を創刊しました。今回も「宮城学院の歴史」(全4回シリーズ)を振り返ります。

## 「130th VIEW」の由来

タイトルの”VIEW”には「130周年記念事業やこれまでの歴史など、宮城学院に関するさまざまなものを、皆さまに広い範囲で見てほしい」との意味が込められています。

# The History of Miyagigakuin

～宮城学院の歴史～

## 第3回 桜ヶ丘キャンパス

### 桜ヶ丘でむかえる 新たな幕開け

1980(昭和55)年、東三番丁キャンパスから現在の桜ヶ丘キャンパスに移転した宮城学院。レンガ造りの新校舎や広々としたグラウンドはもちろん、礼拝堂やピアノ池などの施設もこの頃誕生しました。また多くの同窓生が母校に集う「ホームカミングデー」の第1回が1981(昭和56)年から開催され、現在まで続いています。



### 創立100周年記念で「帽子の像」誕生



生徒10人からその歴史をスタートした宮城学院は、桜ヶ丘キャンパス移転6年後の1986(昭和61)年、創立100周年を迎えました。同年、これを記念して建てられたのが「帽子の像」。宮城県出身の日本を代表する彫刻家・佐藤忠良氏の作品で、以来“宮城学院のシンボル”として、在学生やOGらに親しまれています。

## FLASHBACK—100th

本学院100周年を記念して、1986年10月15～18日、オリジナルミュージカル「Heart by Heart Tour」が公演されました。本学院の幼稚園から大学までの在校生や卒業生、そして教職員・PTAの父母までもがスタッフ・出演者として参加した「ALL MG」の作品です。本学院の中、高、大を卒業し、劇団四季で演出家としてご活躍された梶賀千鶴子さんが演出を行いました。

